

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 27 度 第 1 回定時総会

議 事 録

- 日 時 平成 27 年 5 月 28 日 (木) 午後 7 時 00 分～8 時 30 分
場 所 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
次 第 1. 開会の辞
2. 表彰
 1) 永年会員表彰
3. 議長選出
4. 議長挨拶
5. 総会役員選出
 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 2) 書記任命
6. 会長挨拶
7. 資格審査報告
8. 議案審議
 1) 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告に関する件
 2) 第 2 号議案 平成 26 年度収支決算報告に関する件
 3) 第 3 号議案 平成 26 年度監査報告に関する件
 4) 第 4 号議案 平成 27 年度事業計画案に関する件
 5) 第 5 号議案 平成 27 年度収支予算案に関する件
 6) 第 6 号議案 平成 27・28 年度役員選任に関する件
9. 総会役員解任
10. 議長挨拶
11. 閉会の辞

議事概要

1. 開会の辞

定刻どおり吉本副会長より平成 27 年度定時総会開会の辞があった。

2. 表彰

1) 永年会員表彰

永年会員表彰対象者 67 名を代表して高田裕子氏 (明生病院)、久保恵子氏 (河内総合病院)、辻岡貴則氏 (大阪病院) 3 名に、運天会長より永年会員表彰が授与された。

3. 議長選出

議長選出について、総会出席者より立候補者がいないため、執行部から議長候補者として下本知子氏 (小阪産病院) と川井和久氏 (大阪府茨木保健所) の 2 名の提案があり、出席会員の挙手をもって承認された。

4. 議長挨拶

下本議長より議長就任の挨拶があった。

5. 総会役員選出

1) 資格審査委員兼議事運営委員任命

下本議長より、資格審査委員兼議事運営委員として理事から荒木常務理事ならびに田畑常務理事の 2 名と、出席者より岡部文雄氏 (結核予防会大阪府支部相談診療所)、上遠野明氏 (南大阪病

院)、伊東千絵氏(小阪産病院)の3名が任命され、両委員会の委員長に荒木常務理事が任命された。

2) 書記任命

下本議長より、書記として大臨技事務所職員の岩崎和子氏ならびに出口由紀子氏の2名が任命された。

以上の総会役員任命について、出席会員の挙手をもって承認された。

6. 会長挨拶

本日はお忙しい中、多数の方にお集まり頂きまして有難うございます。

本日の総会議案は、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画、新役員選任議決です。

平成26年度事業報告においては、平成25年8月26日に公益社団法人認定の取得後、公益法人に適応しているかを確認する年度でもあります。

公益法人においては公益事業比率50%以上とされ、本年の当会の比率は67%となりました。ただ、公益事業では、200万円の黒字収支で27年度公益事業収支には若干の調整が必要とされます。

新役員選任では、役員選出委員会の辻委員長から後ほど議案定義があります。

現会長在中の2期4年、私たち執行部は基本事業以外に2つの目標を掲げ、1つは公益法人への移行と2つ目は日臨技との連携強化を進めてきました。公益法人へ移行は達成しましたが日臨技との連携についての進展は致しましたが、達成とは言えない状況です。今後は新しい執行部に期待したいと思います。平成27年10月17日・18日開催の日臨技主催の近畿支部学会大阪国際交流センターで開催致します。大臨技企画として、「海外の臨床検査技師制度」を通して臨床検査の可能性を考える企画を検討していただくので多くの参加をお待ちいたしております。

7. 資格審査報告

下本委員長より、本日の会員出席者数35名、委任状によるもの2,293名、計2,328名で、平成27年5月28日現在の正会員総数3,356名の過半数を超えており、本総会は成立すると資格審査報告があった。この報告を受け、下本議長より定款17条2項3に基づき総正会員の半数以上であり総正会員数の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う記述法に満たしていることで本総会の成立宣言があった。

ここで、議長を川井議長に交代した。

8. 議案審議

1) 第1号議案 平成26年度事業報告に関する件

① 総務部

栗本理事より、庶務および広報の2つの部会について順に報告があった。

I 庶務：大臨技の運営に関わる業務として

1. 定期総会の開催

1) 平成26年度第1回定期総会を、平成26年5月22日(木)に開催した。

2. 会議の開催準備および開催

1) 常務理事会を大臨技事務所で12回開催した。

2) 理事会を大臨技事務所で12回開催した。

3) 平成27年度日臨技近畿支部医学検査学会実行委員会を大臨技事務所で12回開催した。

4) 平成27年度日臨技近畿支部医学検査学会事務局会議を大臨技事務所で12回開催した。

5) 総務・会計部会を大臨技事務所で12回開催した。

3. 平成26年度事業計画案ならびに予算案の作成および大阪府への報告を行った。

4. 教育施設との連携

大臨技登録学生(OEMS)制度の導入を行った。

5. 大臨技会員管理システムの充実。

6. 大臨技会員証及び登録学生カードの発行

7. 大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理。

II 広報：

1. 大臨技会報「通巻 第200号」平成26年9月1日(WEB版)の公開。

2. 大臨技ニュース「通巻 第 303 号～第 314 号」(12 回)を毎月 1 日に発行した。
 3. 大臨技ホームページの更新を行った。
 - 1) 大臨技スケジュールの管理。
 - 2) データの随時更新。
- ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

② 渉外部

清水理事より 3 事業の報告があった。

平成 26 年度は、地域医療推進と臨床検査の普及啓発に関する事業、大阪府民の健康増進と福祉の向上、関係団体と協力して地域医療を推進する。

1. 献血推進活動、2. 他団体との連携交流 3. 日本臨床衛生検査技師会公益委託事業として、(がん予防啓発に関する事業)や(エイズ、STI 予防に関する事業)などを行った。

1 番目の献血推進活動では、第 42 回献血活動推進活動を平成 26 年 8 月 23 日(土)10:00～16:30 難波グリーンガーデン及び、まいどなんば献血ルームで開催し献血受付 205 名 献血者 158 名の協力があった。

2 番目の他団体との連携交流では、第 10 回 府民健康フォーラムを平成 26 年 11 月 9 日(日)14:00～16:40 サンケイブリーゼプラザ小ホール(ブリーゼタワー7 階)で「高血圧って、何が悪いの?～高血圧のチェック・食事・日常生活における工夫～」開催し、256 名の参加があった。

平成 26 年度大臨技・大放技合同フォーラムでは、平成 27 年 1 月 31 日(土)14:00～17:00 大阪府医師協同組合会館で「肝臓の診断と治療のトピックス」をテーマとして開催し、149 名の参加があった。

日臨技公益委託事業では、「検査と健康展」を平成 25 年 11 月 17 日(日)13:30～16:00 サンケイブリーゼプラザ小ホール前エントランス前にて開催した。

(エイズ、STI 予防に関する事業)として、HIV 予防啓発講演会を平成 25 年 11 月 30 日 14:30～16:15 日本医療技術学園で開催し 53 名(学生 40 名、会員 12 名、一般 1 名)の参加があった。

(がん予防啓発に関する事業)として第 4 回がん検診フォーラムを平成 26 年 3 月 15 日(土)14:00～17:00 大阪府医師協同組合会館で、がん検診、受けましたか?～貴女を「がん」から守るために～をテーマとして開催し 63 名の参加があった。

会議では、渉外部会を大臨技事務所において 7 回開催した。以上活動の報告です。ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

③ 情報組織部

井戸田理事より情報組織とチーム医療の事業報告があった。

平成 26 年度情報組織部では技師間における組織の強化ならびに新人の教育研修および技師会への入会斡旋、またチーム医療部門との連携により、臨床検査技師のチーム医療への参画とスキルアップ、他職種との情報共有を目的に事業を開催した。

1. 新入会員研修会を平成 26 年 8 月 2 日に開催し、技師会活動ならびに医療安全についての新人研修を行ない、55 名の参加があった。
2. 第 31 回技師長会を平成 27 年 2 月 21 日に、医療安全に関する研修会を開催した。事業の運営方法として臨床検査データ標準化推進事業報告会との同時開催とし、100 名の参加があった。
3. 多職種合同チーム医療研修会を平成 27 年 10 月 14 日に開催し、「初心者向け ICT 講座」をテーマとし、基礎的な感染防御の教育研修会を開催し 73 名の参加があった。
4. チーム医療部門の糖尿病療養指導部会では糖尿病治療と糖尿病療養指導の特別講演会を平成 26 年 7 月 21 日と平成 27 年 2 月 11 日に開催し 59 名、127 名の参加があった。また、定例勉強会を 4 回開催し 38 名、26 名、41 名、30 名の参加があった。
5. チーム医療部門の ICT 部会では平成 26 年 5 月 9 日および平成 27 年 1 月 23 日に ICT 定期講習会を開催し、それぞれ 50 名、63 名の参加があった。
6. チーム医療部門の NST・褥瘡部会では平成 26 年 10 月 18 日に NST 専門療法士認定試験対策と輸液に関する講演会を開催し 26 名の参加があり、平成 27 年 2 月 7 日に亜鉛と褥瘡に関する講演会を開催し 28 名の参加があった。
7. チーム医療部門の生殖医療部会では平成 27 年 2 月 19 日に奈良県臨床検査技師会と合同で染色体・遺伝子の基礎と生殖医療の現状についての講演会を開催し、36 名の参加があった。
8. チーム医療部門 内視鏡検査部会では平成 26 年 12 月 6 日、平成 27 年 2 月 23 日に内視鏡検

査に関する講演会を開催し、それぞれ 15 名、30 名の参加があった。
ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

④ 地区事業部

田畑常務理事より地区事業部の報告があった。

地区事業部では、平成 26 年度、1. 地域の会員相互の交流強化、2. 自由集会及び、地域オープンセミナーの開催、3. 府民参加型健康啓発事業に関する協力、4. 検査説明・相談ができ臨床検査技師育成講習会の開催の 4 事業計画に従い事業活動を行った。

1. 会員相互の交流強化の事業として

- 1) 会員交流会を谷町 9 丁目 和風ダイニングバー Beering Bon、10 月 4 日クイズ、パントマイム、バイキング等を行い、親睦を深めることが出来た。
- 2) 施設連絡者会を大阪産業創造館にて、3 月 4 日日臨技報告：『日臨技のこれから』、大臨技報告：『検査説明等について』、講演：『リーダーシップ（検査説明ができる検査技師を育てる）』について行った。

2. 自由集会及び、地域フォーラムの開催事業として

北、中央、南の 3 地区において、自由集会とオープンセミナーを開催した。

- 1) 北地区では、大阪医科大学にて、7 月 19 日『あなたもできる検査説明』について自由集会、2 月 7 日『緊急企画：エボラ出血熱最新情報と対応策の実際』についてオープンセミナーを行った。
- 2) 中央地区では、大阪医療技術学園専門学校にて 9 月 13 日『ウイルス感染症の最新の発症状況ならびに細菌迅速検査』について自由集会、大阪医療技術学園専門学校にて 2 月 27 日『放射線領域の画像診断学の臨床編』について、オープンセミナーを行った。
- 3) 南地区では、岸和田徳洲会病院にて 7 月 19 日『検査説明と R-CPC』について自由集会、11 月 22 日府中病院にて『他職種に学ぼう！心理と行動と色彩』についてオープンセミナーを行った。

各地区とも充実した内容の自由集会及びオープンセミナーが開催されています。

3. 府民参加型健康啓発事業に関する協力として

大阪南港 A T C ホールにて、6 月 28 日、29 日マタニティーカーニバル 2014 体験コーナーを運営した。2 日間で 22,000 人を超える来場者があり、体験コーナーも充実したものとなり今後も府民のための公益活動として、参加協力したいと考えます。

健康展への協力事業ですが、吹田市 9 月 6 日、7 日、摂津市 11 月 9 日、両市にて開催され多数の市民が参加され、地域の方々が中心となり大盛況でした。

4. 検査説明・相談ができ臨床検査技師育成講習会の開催として

10 月 25 日、26 日の 2 日間、中之島ホテル NCB にて講習会が開催され参加人数は各施設 1 名とし、先着 48 名が参加した。今回の講習会についてのアンケート調査の全体的な評判は良く、しかしながら、ビデオ放映でなく、色々な検査説明のパターンの紹介しロールプレイを多く行う等の感想があげられた。27 年度はワンランク上の講習会が開催できるよう実践的な内容を取り入れたいと思います。

以上、平成 26 年度地区事業部活動内容について、報告申し上げます。

ご審議、宜しくお願い致します。

⑤ 学術部

高田常務理事より学術部の報告があった。

I. 学術部会関係

1. 学術部会会議は、大臨技事務所において 5 回開催(第 4 火曜日)した
 - 1) 各部門が開催する講習会等の調整。
 - 2) 生涯教育としての学術講演会の準備・調整。
 - 3) 第 55 回日臨技近畿支部医学検査学会の準備
2. 他事業部の事業に協力した。
3. 他団体との学術交流に参加した。
4. 教育施設懇談会を大臨技事務所において 1 回共催(2015. 3. 25)した。

II. 講習会

第9回大臨技教育セミナー

平成26年7月19日(土)14:30~17:00

会場：関西医科大学附属滝井病院6階臨床講堂

テーマ：Ⅰ教育講演、Ⅱワークショップ

参加者：204名

第10回学術部講演会

平成27年2月7日(土)14:30~17:30

会場：住友病院14階講堂

テーマ：知っておきたい感染対策

—ウイルス熱への対処方法を中心に—

参加者：38名

Ⅲ. 日臨技学会・近臨技学会関係

第63回日本医学検査学会

日時：平成26年5月17日(土)~18日(日)

開催地：新潟県新潟市

会場：朱鷺メッセ、他

メインテーマ：越〜こえる〜

一般演題数：702題(大臨技会員の座長・司会、発表演題数：表)

第54回日臨技近畿支部医学検査学会

日時：平成26年9月20日(土)~21日(日)

開催地：兵庫県神戸市

会場：神戸国際会議場

メインテーマ：臨床検査のinnovation~The way of real professional~

一般演題数：147題(大臨技会員の座長・司会、発表演題数：表)

Ⅳ. 部門・分野関係

10部門で各種講演会等を97回開催した。

平成26年度学術部活動内容について報告をいたします。ご審議、宜しくお願い致します。

以上の第1号議案「平成26年度事業報告に関する件」は質問、意見もなく挙手多数により承認された。

2) 第2号議案 平成26年度収支決算報告に関する件

荒木常務理事より、平成27年3月31日現在、貸借対照表の報告が行われた。資産の部で流動資産合計26,499,991円、基本財産合計15,000,000円、その他固定資産合計74,984円、固定資産合計15,074,984円資産合計41,574,975円。負債の部で流動負債合計17,471,299円、正味財産合計24,103,676円、増減は3,349,340円であった。

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの正味財産増減計算書内訳表での経常収益は、公益目的事業会計の小計は25,105,106円、収益事業等会計の小計は、5,551,600円、法人会計は6,731,811円、合計で37,388,517円。経常費用の公益目的事業会計は22,843,613円、収益事業等会計は6,039,645円、法人会計は5,155,919円、合計で34,039,177円。公益比率は67.1%であり50%を超えているが、公益目的事業の当期経常増減額黒字額については平成27年度事業費用に充てることとする。当期経常増減額は3,349,340円となった。

ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

以上の第2号議案「平成26年度収支決算報告に関する件」は質問、意見もなく挙手多数により承認された。

3) 第3号議案 平成26年度監査報告に関する件

私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各幹事は、理事及び使用人等と意志疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況につい

て報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以下の方法にも基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事情報告等の監査結果

一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。以上

ご審議の程、よろしくお願いいたします。

以上の第3号議案「平成26年度監査報告に関する件」は挙手多数により承認された。

4) 第4号議案 第27年度事業計画案に関する件

①総括 平成27年度の事業は、基本計画にありますように公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事業として府民向けの公開講座、チーム医療推進事業、精度保証事業、臨床検査技師のスキル向上を目指す研修会を行います。今年度は大阪が日臨技近畿支部医学検査学会の担当県となり、学術研鑽の良い機会にしたいと思っております。

また、法改正に伴い臨床検査技師が患者さんからの検体採取するために義務化された検体採取厚労省指定講習会を開催し、臨床検査技師による臨床検査の説明・相談ができる環境を支援するための講習会も引き続き開催いたします。以上、役員一同、みなさまの意見を反映させながら、目的に沿った会の運営に尽力してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

②事務局事業計画案について

事務局として、公益社団法人としての組織運営を維持します。

1. 日臨技近畿支部医学検査学会の開催および運営

今年10月16日・17日の両日に大阪国際交流センターにて開催される「第55回日臨技近畿支部医学検査学会」に向け、実行委員会を毎月開催。

2. 組織運営の充実

総務部は総会、理事会および各種委員会の開催準備、会員等への感謝状表彰や永年会員表彰等

会員への広報については、大臨技ニュース及び大臨技ホームページの内容を逐次更新し、有益な情報をリアルタイムで正確に提供する。

各教育機関との連携については、臨床検査教育機関懇談会の開催や各教育機関の学生に対し、大臨技活動の啓発を目的に大臨技ニュースの配布や卒業式時に大臨技会長賞の授与を行う。

3. 事務体制の強化

事務体制については、会員管理の強化を図るため、今年度から導入する都道府県会員管理システムの運用を始め、大臨技会員証の発行、大臨技のみの会員のための大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理、平成26年度から大臨技登録学生制度の発足に伴い、大臨技登録学生カードの発行と大臨技登録学生の管理を行う。

財務管理については、公益社団法人に準拠した適正な財務管理を継続し主務官庁である大阪府へ当該年度の財務管理関連の報告と事業報告を行う。

4. 府民ならびに関連団体との交流の推進

府民ならびに関連団体との交流については、府民や他職種の方々に対して積極的にホームページ等で公開講座の広報を行い、参加した府民の方々の健康保持・増進への貢献や他職種の方々への情報提供を行う。

府民公開講座については、渉外部が担当し大阪府薬剤師会、大阪府栄養士会と共催する「府民健康フォーラム」を10月に、大阪府放射線技師会と共催する「大臨技大放技合同フォーラム」を1月に開催を予定し、大阪府看護協会に協力する「看護の日」は、既に5月9日に開催しました。

また、これらの他団体とはホームページ上での相互リンク等で情報の共有化を図り、その他の団体とも大阪府地域医療推進協議会への参画により連携を図る。

5. 社会貢献活動の推進

渉外部が担当する社会貢献活動の推進については、医療関連団体である当会が率先して輸血用血液製剤の確保のために街頭で献血の呼びかけを行う献血推進活動を、適正在庫の確保が最も困難である時期 8 月と 2 月を予定。

障がい者に対する理解と協力については、医療現場における視聴覚障害者とのコミュニケーションを目的とした手話講演会を府民公開講座開催を予定している。

予防啓発事業の推進については、街頭キャンペーンや府民公開講座によるがん予防検診事業や HIV 予防啓発事業を予定している。

以上、ご審議の程、よろしくお願い致します。

③ 事業局計画案について

1. 学術部は、公益事業としての学術部講演会（年 1 回開催予定）や部門別研修会・講演会の開催。これらの事業を円滑に開催するための部会会議を開催する。

他の事業部の企画への協力をし、他団体（大放技、薬剤師会、栄養士会、看護協会等）と学術交流活動への協力（企画への参加、講師推薦）を行う。

府下教育機関と共同事業（大臨技教育セミナー）を開催する。

2. 地区事業部は、地域の会員相互の交流強化を行い、自由集会及び、地域オープンセミナーを開催する。

府民参加型健康啓発事業に関する協力をし、検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催を行う。

3. 情報組織部は、新入会員および未入会者を対象に技師会について理解を深めるための研修会の新入会研修会を開催する。

検査室の管理運営に役立つ情報の提供および施設間の連携と組織の強化を支援する技師長会を開催する。

その他として、チーム医療との連携により、技師のチーム医療への参画を支援する。

以上、ご審議の程、宜しくお願い致します。

以上の第 4 号議案「平成 27 年度各部事業計画案に関する件」について、挙手多数をもって承認された。

5) 第 5 号議案 平成 27 年度収支予算案に関する件

「平成 27 年度予算案に関する件」については別紙「収支予算案」をもとに説明があった。

収入の部では、会費収入について 2,063 万円。事業収入は、学術部講演収入 1,636 万円。補助金収入 175 万円。雑収入は、51 万円。収入合計 3,925 万円を計上した。

支出の部 1 では、人件費 706 万円、会議費 62 万円、事務経費 375 万円、事務所費 299 万円、支出の部 1 小計で 1,442 万円を計上した。

支出の部 2 では、学術研究費は 1,641 万円、広報費 234 万円、情報組織費 157 万円、渉外費 136 万円、地区事業費 149 万円、各種研修会費 1 万円、各種委員会費 85 万円、諸経費 80 万円。支出の部 2 小計で 2,483 万円を計上した。本年度は支出の部 1, 2 を合計した当期支出は 3,925 万円を計上した。

以上、ご審議の程、宜しくお願い致します。

以上の第 5 号議案「平成 27 年度収支予算案に関する件」について、挙手多数をもって承認された。

6) 第 6 号議案 平成 27・28 年度役員選任に関する件

大臨技・役員候補者選出委員会委員長 辻義則氏から平成 27・28 年度役員候補者選出に関する経緯と提案があった。

定款 17 条・第 3 項に則り候補者ごとに選任の決議が行われた。

以上の第 6 号議案「平成 27・28 年度役員選任に関する件」について 定款第 21 条・第 1 項により

大臨技・役員候補者選出委員会から提案された 20 名の候補者について選任されたことを確認され承認された。

9. 総会役員解任

川井議長が、本総会の役員および書記を解任した。

10. 議長挨拶

川井議長より議長退任の挨拶があった。

11. 閉会の辞

竹浦副会長より、日臨技の総会委任状の回収率への協力、日臨技と大臨技の両方への加入の協力を伝え、平成 27 年度定時総会閉会の辞とした。

以上

平成 27 年 5 月 28 日

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会理事会において

議長	岡本 秀雄	印
同	堀田 真希	印
理事	運天 政五郎	印
同	竹浦 久司	印
同	吉本 勝美	印
同	高田 厚照	印
同	荒木 年夫	印
同	田畑 泰弘	印
同	清水 隆之	印
同	井戸田 篤	印
同	出野 憲由	印
同	山田 真規子	印
同	宮野 章	印
同	酒井 正容	印
同	栗本 幸司	印
同	山西 八郎	印

同	杉山 昌晃	印
同	増田 詩織	印
同	久保田 芽里	印
同	後藤 真理子	印
監 事	栗本 誠一	印
同	柴 芳浩	印